

すこしの工夫で驚くほど快適に!

くらしの整理収納術



中段にハンガーラックをDIY、上下段には衣類ケースを置く。

中段奥は右側にカラーボックス、左側にスーツケース。

今月のポイント!

押し入れの奥行きは約80cm。クローゼットの活用の際には、手前にかける服の奥行に合わせて奥に置く収納を考えると、空間をしっかりと使える!

押し入れのクローゼットの活用①

押し入れは奥行きが約80cmと深く、ニーズに合わせた多彩な使い方ができる大型収納。クローゼットの衣類を中心にしよう場合は、前後2列での活用がキモになる。

つっぱり棒でクローゼット化 手前に衣類、奥に収納の前後2列使い

押し入れの奥行の中心よりも手前に突っ張り棒を取り付け、中段にハンガーラックを作る。ボトムスは奥行40cmあれば十分収まるので、その後ろに奥行30cmのカラーボックスが置ける。トップスは奥行60cmが必要なため、後ろには薄めの収納棚やスーツケースなどを入れる。

上段の枕棚には布製の衣類ケースを置く。プラスチックより軽く、ふた付きでほこり除けになる。季節モノやあまり使わないバッグなどをしまおう。下段には同じシリーズでそろえた衣類ケースを置く。

キャスター付きなら 掃除もらくらく!

押し入れ下段の衣類ケースは、キャスター付きを選ぶことで掃除の利便性が大きく向上する。ここでは奥行をしっかりと活用できる引き出し式をチョイスしたが、前後2列使いにして季節で入れ替える使い方も有効。



教えてくれたのは…

整理収納アドバイザー 佐藤江理子さん

Profile / 1974年酒田市出身。(株)佐藤江理子建築工房代表取締役。二級建築士、インテリアコーディネーター、整理収納アドバイザー1級、住宅ローンアドバイザーの資格を持ち、お金のことから間取り・インテリアなど家づくりの全てを担当している。近藤典子暮らしアカデミー第4期生として「住まい方アドバイザー」の勉強中。

